

風を見る者



<p>羽田 寿孝</p> <p>①3期 ②窓の掃除屋、同村会では肉体作業担当 ③遊技 ④豪華祭準備での高所作業者の人材確保・育成</p>	<p>青島 純</p> <p>①3期 ②某ファストフードのマネージャーと爆安の殿堂の店員 ③ヒップホップダンスを踊ること! ④まだ夢見途中なのであかせません!!</p>	<p>伊達 亮介</p> <p>①3期 ②弦楽器製作 ③車、釣り、カメラ ④1万人大同窓会</p>
<p>手嶋 毅</p> <p>①9期 ②保険代理店勤務(次期社長の予定?) ③写真撮影、猫と戯れること ④里帰りのように年一度は帰りたい。校風作りに貢献したい。</p>	<p>黒澤 豊</p> <p>①9期 ②ゲームクリエイター(ランナー) ③シャンソン、フラメンコ、演劇、美術鑑賞 ④東野の校舎の二棟を買って住む。一番使っている正門が情緒ある木造教室か。25年間悩み中。</p>	<p>高橋 古志夫</p> <p>①4期 ②害虫駆除とクリーニング ③散歩と絵を描くこと ④いつか卒業生の同窓会をプロデュースできる団体になつてると良いかなあ</p>



同村会よりお願いとお知らせ

ブログを見てください

同村会ではブログをやっています。年2回の会報だけではお届けしきれない「東野の今」をお伝えしたいと思っています。懐かしい風景。懐かしい先生。そして、新しい東野。様々な東野をお届けしていきます。
→ <http://s.ameblo.jp/dousonkai-ameba>

会報届いてる?

毎回お願いしておりますが、同級生に会ったら声かけをお願いします。個人情報保護法により、1度切れてしまった糸を繋ぎあわせることが、とても難しい世の中になりました。会報が届いてない卒業生は、同村会において「不明者リスト」に入っております。会報が届いてない方、ぜひ同村会までお知らせ下さい。またご住所の変更がございましたら必ずご連絡下さい。メールアドレス→ info@dousonkai.com またはFAX→ 04-2934-6462 郵便→ 〒358-08558 入間市二本木112-1東野高等学校内「同村会」宛 どれでも構いません。同村会にご一報ください。

卒業生の仕事力!

同村会では、お仕事をされている卒業生の力を求めています。同村会の活動の中で、備品の発注・同村会のホームページの管理委託・会報などの印刷・イベントの企画。また、同村会室の修繕工事・エアコンの取り付け。さらには大同窓会の会場・忘年会、新年会などのお店...などなど。お仕事の依頼をするならば、できれば卒業生にと常に思っております。「現在こんな仕事をしていますよ!」こちらもご連絡いただけましたら幸いです。役にたたないだろうから...と思わずに、どんなお仕事をされているか、そのお仕事の魅力等もどんどん教えて下さい!もちろん、無断で情報を公開することは致しませんのでご安心下さい。卒業生として...またビジネスとして...同村会とつながってください!

◎お辞めになった先生方の消息

会員の皆さまにお願いです。既に東野をお辞めになつている教職員の方々、今でも年賀状やメール・LINEのやりとりをされている先生がいらっしゃるようでしたら、その先生の御名前を同村会に教えて頂きたいのです。現在、200名以上のお辞めになられた教職員の方々がいらっしゃいます。住所やメールアドレス、その先生の許可がなければお教えいただけません。ですが、いまでも、卒業生と繋がりがついている先生を、1人でも多く把握したいのです。今後の同村会のイベント等にお声かけをしたくても、どなたと繋がっているかさえ判らない状況のため、ぜひご協力下さい。よろしくお願い致します。

本年度も、よろしくお願い致します。



9月9日・10日、 盈華祭が 開催されました。

同村会役員 羽田 寿孝

今年は、例年同様のアイス販売と、同村会オリジナルグッズ販売と第一の門の装飾、それとメイン企画の学校とのコラボ企画で盈華祭に参加しました。

初日は天候にも恵まれ、アイスは完売！2日目も完売！グッズ販売はちよつと問題があったようですが…。

さて、学校とのコラボ企画は、生徒、教職員の全員に、短冊にメッセージを書いてもらい、それを手作り風鈴にぶら下げる。その数、約1,200！手作り風鈴は、小さな植木鉢に紐を通して盈華祭実行委員の皆さんが製作してくれました。同村会はそのお手伝いとして風鈴をぶら下げる木枠の製作。

ネジ！ネジ！ネジ！…木枠を作る為のネジ、風鈴をぶら下げる為のネジ、果てしない数のネジを打ちましたね…。

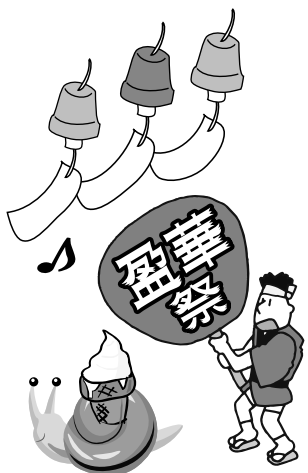
正門から第一の門に向かって約30mの風鈴のトンネル。風が吹くと「チリーン、チリーン」と綺麗な音色がしていました。生徒も来校された父兄の方も、

自分の短冊は何処？友達のものは何処？自分の子どもは何を書いたのかな？と、ちよつとした宝探しのように楽しんでました。

併せて第一の門の装飾。

『第33回盈華祭』の文字看板を盈華祭実行委員の生徒に自由に色付けしてもらいました。これを看板の下に色付けして飾った風鈴と綺麗にマッチング！第一の門の白い背景に赤、黄、緑、青、と色鮮やかな門が出来ました。

風鈴のトンネルと第一の門。卒業生と生徒による二つのコラボ作品が、盈華祭を見事に華やかにしました！



盈華祭「風鈴アーケード」 作成に関する思い出

文化祭実行委員執行部一同

毎年行われる盈華祭の行事として、全校生徒参加企画があります。生徒たちの思いが詰まったものを形にしていくなので、メッセージアートだったり、パネルだったり、色々

と体験してきました。今年度の全校生徒参加企画はどうしようか、と実行委員

で話していたところ、今まで無いことをやってみたいという漠然とした思いはありましたが、明確なアイデアが浮かんできませんでした。そんな時、ここ数年共同企画としてお力を貸して下さる同村

会の先輩方が「こんなのはどうだろうか」という提案がはじめの一步でした。目で見るだけでなく、音や形を表現する面白い発想で、私たちが考えた「千人万色」というテーマにもマッチするものでしたが、とにかく準備が大変でした。風鈴を構成する



パーツを全て手作業で1,000個以上作るのには途方もない作業で、何度も諦めそうになりました。ですが、徐々に作業を進めるうちにスイッチが入ったというか、もつと面白くしよう！と思いつき、風鈴に色を塗ったりしました（後々苦い思いをしましたが…）。

東野村祭りが 盈華祭に名前が 変わっても

二期 真仁田 行宏

去る9月9日・10日に開催された盈華祭に数年ぶりに、お手伝いをさせて頂いた頂きました。同村会は例年通り、大



講堂前にてアイスの販売を、大々的にやりました。連日の猛暑の中、おかげさまで早々に完売したのは、卒業生や在校生の皆さんのおかげです。

私、卒業して29年。同村会の役員をやめてから10数年。不思議なもので、この祭りに参加するたびに、現役当時の自分に戻っている（見た目じゃなくて気持ちだけ）気がなっています。

ただ、現役当時の東野村祭りから、現在の盈華祭の違いというか、違和感があつて、キャンパスは同じでも全く違う学園祭になっているような気がしてなりません。

今の盈華祭も、昔の東野村祭りも、催事内容には大差は無いのだけれど、多分、自分が感じている違和感は、今のクールジャパンと昔の熱い学生の違いのような気がしています。

私は2期生なので、周りの学生たちがなるべく自分達で歴史を作っていこうと思うフロンティアスピリットで学園祭がセットされ、カラフルで壮大なオーケストラのようになりました。

本番当日、入場を待ちきれない来校者の方々を正門前に誘導し、そこにあつた風鈴アーケードを大勢の方々が足を止めて短冊を読んだり、写真にそのコマを収めてくれたり、これから本番の忙しさがあるというのになんだかそこで達成感のようなものを感じる事ができました。

来年以降、後輩たちが、また新たな盈華祭を作ってくれたいと思います。今度はそれを見に卒業生として東野高校に足を運びたいと思います。





卒業生のみなさんへ

校長 北村陽子



卒業生の皆さん、お元気ですか。2017年度から校長の職務を仰せつかりました、北村陽子です。2017年度、盈進学園は創立93年東野高等学校開校33年を迎えることができました。まさしく伝統校と言っても過言ではないでしょう。そして今、盈進学園創立100年東野高等学校開校40年となる2024年をどのように迎えようか、組織を形成し考えていこうとしています。

さて、皆さんは丸山鏡雄先生語録を覚えているでしょうか。私は、いつもこの言葉を心に刻むべきだと考えています。

- 「常に子どもともにあれ」
 - 「子どもには必ず光るものがある」
 - 「子どもの可能性を信じよ」
 - 「子どもに希望を持たせよ」
 - 「鑄型にはめるのではない、育てるのだ」
 - 「怒るな、あらん限り褒めよ」
 - 「謙虚であれ、怖れを持て」
 - 「子どもを買い被るな、子どもを見くびるな」
 - 「自らの仕事に全心を打ち込め」
- 皆さんが、仕事・人間関係などで悩まれたときには丸山先生の言葉を思い出してみたいかがでしょうか。また、時間を見つけて、東野を訊ねてみませんか。きっと底知れぬ活力が湧いてくるでしょう。
- 一学期始業式で「学校は人なり、人は財産なり」と話しました。「学

校は建物ではありません。そこで学ぶ生徒達であり、教職員であり、保護者の方々です。」そうあるべきです。建物が学校なのではなく、そこに集う人々がどのようか考え、どのような能力を持ち発揮しているのかが学校であるべきだと考えます。もちろん本校の魅力的環境は有効利用しましょうと。東野は皆さんのご存知のように、パタンランゲージで知られた米国人建築家クリストファー・アレグザンダー教授によってデザインされました。もちろん今でも、来校される全ての方々に魅了されています。今風に言えば、インスタ映えする学校です。たぶん、在校時は多少の不便さを抱えながらも、しかし卒業すると最大限に自慢したくなるキャンパスでしょう。どうぞ、自慢し続けてください。私たちも、ここを守っていくのと同時に、変化に対応しながら、なお発展させていくことが使命だと考えています。

もちろんカヌーもです。美術部・文芸部も全国レベルです。同村会からは、部活動等に関して日頃より多大なるご支援をいただいていることを、紙面をお借りして感謝申し上げます。後輩たちも、先人たちの背中を追いかけて着実に育っていることは確かです。

ひろがる・つながる・かなえる東野は、世界を見据えて本年度も国際化に向けて頑張っていく予定です。時代に求められる学校を目指して、試行錯誤の日々ではありますが、精いっぱい頑張りで過ごしております。今後も変わらぬご支援をお願いいたします。そして、同村会が会長を中心として増々発展していけることを願っております。

私の東野高等学校生活

保健体育科 西本 敬



1980年(昭和55年)4月、盈

に入りは「一生勉強 一生青春」です。この言葉のようにこれからも頑張っていきます。

メアドは昔のまま

(nochiee@nifty.com)です。

ぜひ近況報告など知らせてください。

メッセージにかえて

「好きなこと」を一生懸命やり続ける」

理科(地学) 鹿間光晴



【何期生から】

開校からいます。東野の開校の前の採用です。(つまり盈進高校の生き残りです。)

【印象に残っていること】

生徒と一緒にいる時間が大好きで楽しい思い出ばかりです。毎年、体育祭のクラス全員リレーに担任として必ず出場していたのに、昨年からは自分のクラスの生徒からダメ出し：見学強制、がっつき。生徒とい

問すべてが楽しい思い出です。しかし、心に貼り付き離れないこともあります。早逝した生徒や卒業生たちのことです。この仕事では逃れられない強烈な「印象」です。若い：本当に若い生徒たちや卒業生たちのお葬式にこの三十数年間で十回以上出席しました。私のクラスだった子の葬儀にもなんと四回も行ったのです。部活(将棋・RPG)の子も一人：強すぎる印象です。

【今後に期待すること】

進路・進学先が広がってくると将来のチャンスも広がるのは紛れのない事実です。しかし、あまり受験のみに偏らず、バランスも大切にしたいです。自分を信じ、東野という学校やその先生をとにかく信じてついてきた人たちは「案外」成功しているのですよ(笑)。「生きる力」という言葉に近いのかもしれない。

【卒業生に一言】

ちよつと息苦しい世の中になってきました。しかし皆さんは好きなことを一生懸命やってください。迷わずそして夢中に、とにかく好きなことをやり続けてください。一期生からずっと東野OB・OGの皆さんはそれが一番だということを学んで卒業していったはずですよ。ずっとその気持ちを持ち続けてほしいです。

卒業生のみなさんへ

数学科 望月秀和



創立された年から、ずっと東野を見てきました。時の過ぎゆくのは早

進高等学校に採用していただき現在に至っています。当時は23歳でしたから、もう37年間盈進学園でお世話になっています。東野高校に移ってからは色々な事がありました。特に授業の一環でスケート実習を取り入れ、約1週間、川越のスケートセンターに通い詰めしたこと、その後スキー実習に変更し新潟県に毎冬(約1週間)山籠もりを続けたことが、一生の思い出となるだろうと思います。今後の東野高等学校に期待することとは、永遠に東野高等学校が、すべてにおいて安定した学校と、埼玉県内で高い評価を受ける学校であってほしいと願っています。卒業生の皆さん、変化していく東野高等学校にご理解、ご協力をお願いいたします。

いもので、あつという間に30年以上が過ぎてしまいました。この間いろいろな事があったはずですが、忘れっぽい性格のためにごちゃごちゃの記憶しかありません。最初に頭に浮かんだのは、確か3期生の1年担任をしていた時、「村祭り熱気球を作って飛ばしてみないか」とクラスに提案したこと。討議を経て提案が了承されました。ほぼ実物大の生地を裁断、ミシンを使っての縫製など、連日夜遅くまで作業を続けました。(ミシンの直線縫いだけは今でも得意です。)本物に比べれば生地も弱く、ゴンドラは籐製の物が手に入らなかつたので有人飛行は出来ませんでした。ガスバーナーで大きく膨らみ、ふわりと大空に飛んだ気球の姿は今でも覚えています。この年の入間市万燈祭りにも参加し飛ばすことができました。高校生だつてやろうと思えば必ず実現できるのだと確信が持てました。関わってくれた当時の人々には担任のわがままな提案に付き合ってくれたことを感謝します。

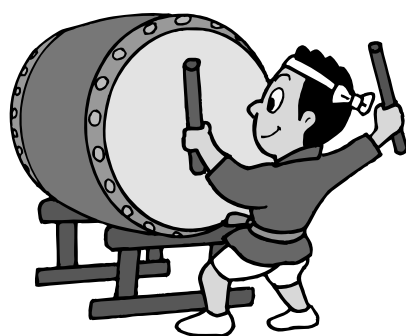
私は相田みつをさんの書が好きです。学級通信の中にも沢山使わせて貰いました。お気

部活動紹介

演劇部

①男子9名 女子8名
 (3年4名、2年7名、1年6名)

- ②大講堂の舞台
- ③鬼嶋先生
- ④愛と希望、夢を与える劇にする。明るく楽しい部活にする。



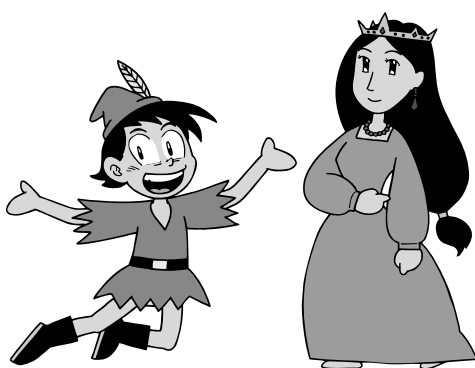
伝統芸能部

①男子4名 女子1名
 (3年1名、2年1名、1年3名)

- ⑤先輩達が作り上げた部活を守っています。ぜひ遊びに来て下さい。
- ⑥大講堂が古く、演劇をする時に怪我をしてしまうことがあります。音楽を扱うダンス部と場所を変えて欲しいです。

②大講堂と雨の日は武道場です。

- ③前田先生、遠藤先生、山尾コーチ
- ④部員を増やす。やる気・元気・響き。



- ⑤学校にお越しの際には、ぜひ伝統芸能部に遊びに来て下さい。
- ⑥大田楽が学校でできないこと、部費が少ないこと、部室が無いことに困っています。

バドミントン部(男子、女子)

①男子19名 女子13名
 (3年生0名、2年生13名、1年生19名)

- ②体育館
- ③内田先生、増岡先生
- ④男子・女子ともに個人・ダブルス・団体戦全てにおいて上位に入る



卓球部

①男子14名、女子1名
 (3年生5名、2年生4名、1年生6名)

- ⑤ご都合のよろしい時間がありましたら、部活に来て、色々教えて下さい。先輩方、高校の時のように一緒に汗を流しませんか。
- ⑥平日の放課後の部活が体育館で1つの団体しかできなくて、練習が減少していることです。

- ②大講堂
- ③鴨川先生
- ④県大会出場
- ⑤《記載なし》
- ⑥ボールが少ない。大講堂の床が汚い。

CLUB ACTIVITIES

総会報告等



東野高等学校卒業生の皆さん。同村会会長の遠山です。2017年9月9日に行われた同村会総会において、会長に選任して頂きましたことを御報告致します。他の役員と共に、さらに同村会の活動を拡充していきたいと考えております。

総会報告に先立ち、この間の活動についてお詫びが2つございます。

まず、昨年度は会報を2回発行することができましたが、夏号に掲載した退職された中出先生・島村先生からの寄稿文や、その他においても誤字・誤植が多く、多くの皆さまよりご指摘を戴きました。寄稿して頂いた中出先生・島村先生に対しても当然ながら、皆さまにも失礼とご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げます。

次に、盈華祭で販売した同村会のオリジナルTシャツですが、プリント部分に不具合があり後日割がれられましたということが判明しました。そのため同村会ブログでは返品・返金のご案内をしておりますので、購入された方につきましては、同村会のブログを御確認のうえ、ご連絡下さいませようお願い致します。ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。今後は、このようなミスのないよう、役員全員で取り組んで参ります。

さて、本年度の総会は、東野との関係をより深くするために、理事長の中川先生並びに、学校の同村会担当として森教頭先生に出席を戴くこととなりました。その他、卒業したばかりの新会員の出席もあり、計15名の参加となりました。

総会開会後、理事長からご挨拶をいただいた後、議案書に従い進行了りました。ここで、総会議案につき順不動となりますが、簡単に御報告致します。

基調報告で触れましたが、2016年度の役員会では、大きな課題として後継者問題の議論がなされてきました。会員の消息等も含め、同村会の活動内容全てが関連することであり、同村会の存続にも関わる重要な課題として、今後も継続的に後継者となる人材の発掘・育成をしていきます。

次に、冒頭に記載したように会報を2回発行することができ、卒業生の皆さまにより一層、同村会の活動が活発化していることを伝える機会になったと思います。可能な限り、毎年2回の会報発行に努め、会員に情報を発信していきたいと思っております。

次に、新年度の役員ですが、2017年度は11名となり、ここ数年の中ではかなり少人数になっております。これも、先に述べたように、人材不足・後継者問題が原因と言えます。やはり、役員として活動できる時期や環境は、各人それぞれにおいて違いますので、一定期間を経て、役員等の活動ができる時期や環境になった卒業生が、役員の手となってもらえるような長期的な計画を今後は考えていきます。

夏号に掲載しましたが、卒業後30年を経て、1期生の同期会が開催されました。同村会は、同案内の発送等のお手伝いに関わりましたが、その同期会を期に、今また東野に来る機会がなかった1期生や、お辞めになった先生が、盈華祭に顔を出して下さいました。同期会は、東野や当会について、友人らと考える絶好の機会です。そして、繋がりを深める場でもあり、その繋がりが、より当会を前進させる原動力になります。今後も、他の各期の同期会が開催されるようお手伝いをし、より同村会が発展していきやすいようにと考えております。

また、在職の教職員の方々と交流会を開催することもでき、同村会の存在意義を認識してもらうことができました。同村会としても、教職員の方々が本会に求めるものを認識し、相互の関係を深めることができた結果として、理事長・教頭先生の出席に繋がったと考えております。

最後に、昨年の総会で報告をしたように、本年度の予算案は、新会員の会費の値上がりも反映される年となります。会報の発行を増やした関係もありますので、余計な支出を抑えつつも、新たな活動を抑制することにならないように計画をいたしました。紙面の都合もありますので、決算書・予算案は、同村会ホームページの採択済議案書をご覧ください。(下記URLまたはQRコードで、掲載ページをご覧ください)

本年度も同村会は一歩ずつ前進を続けていきます。今後の同村会のため、東野のためにも、引き続き皆さまの御支援と御協力を御願い申し上げます。

<http://www.dousonkai.com/sokai.html>



2017年度新役員紹介

- ①卒業期
- ②現在の仕事
- ③趣味
- ④同村会での夢

遠山 尚



- 会長
- ①1期のはず
 - ②法律事務所 調査・コンサル会社代表
 - ③人間観察
 - ④東野を開閉式ドームにする

北澤 理恵



- 経理
- ①3期
 - ②ダンス指導 鍼灸師
 - ③空想 想像 妄想
 - ④卒業生のタウンページを作る

下津 郁也



- 経理
- ①23期
 - ②アパレル販売
 - ③楽器屋・古着屋巡り
 - ④23期生と当時の先生を全員集合させる

根本 章



- 監査
- ①3期
 - ②地方公務員
 - ③スキー
 - ④東野スキー部復活



- 副会長
- ①1期
 - ②マーケティングコンサルタント会社 経営
 - ③ウクレレ、テニス、海釣り、犬の散歩
 - ④昔の友人、全員と再会する!